

経済レポート

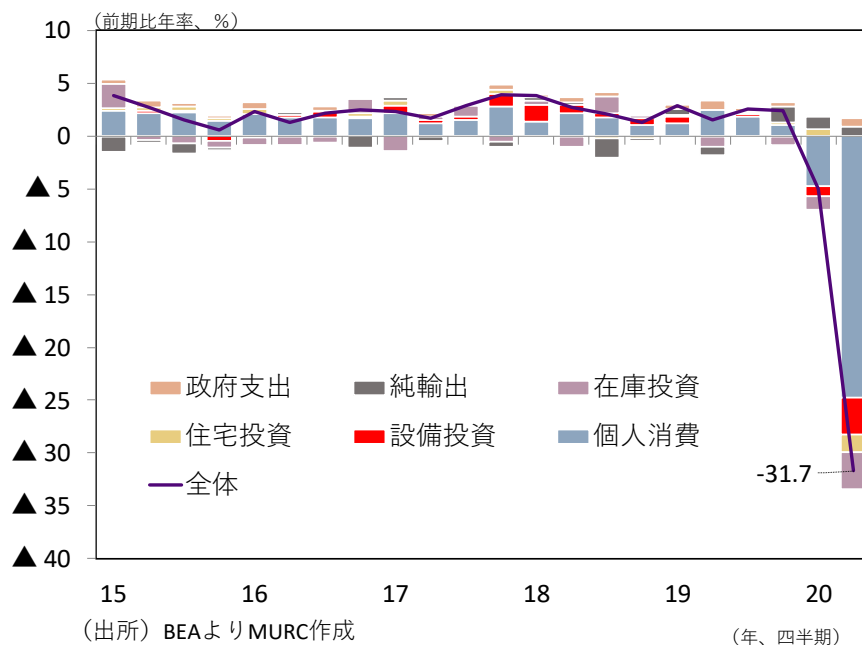
米国景気概況(2020年9月)

調査部

概況 ~ 景気は持ち直しの動き

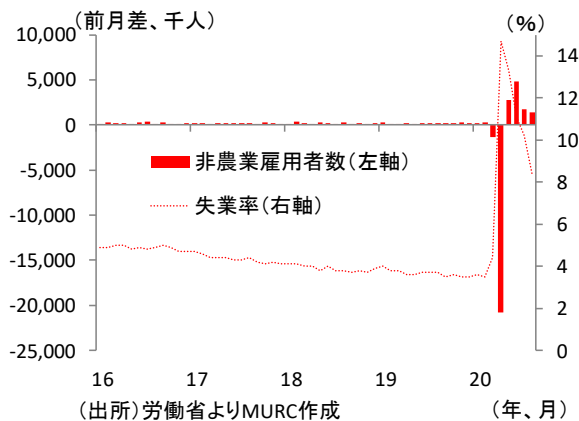
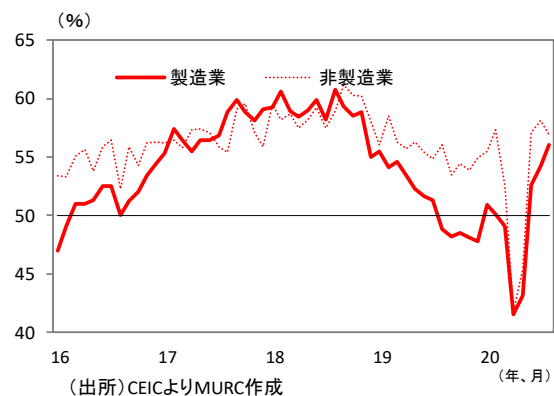
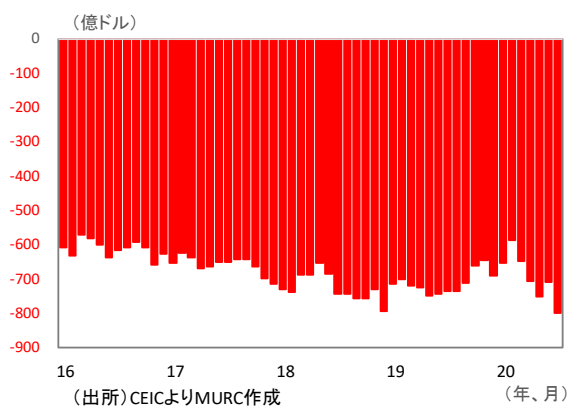
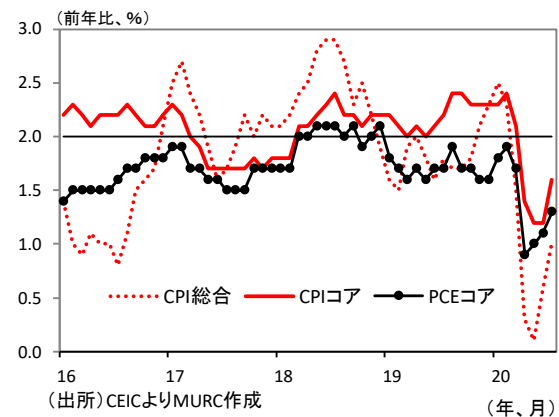
- 米国経済には持ち直しの動きがみられる。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4-6月期の実質 GDP 成長率は前期比年率 -31.7% （改訂値）と、統計開始以来最大の落ち込みを記録したが、月次指標は、経済活動の再開により、概ね4月を底に持ち直している。個人消費は外出制限解除後の反動で増加基調にあるほか、生産は自動車を中心に回復している。
- 足元7-9月の成長率は、経済活動の再開や4-6月期の落ち込みの反動により、前期比年率 $+20\%$ 程度の大幅なプラス成長となる見通しである。もっとも、新型コロナの新規感染者数が、冬場に向け再び増加する可能性もあり、景気の改善ペースが鈍化する懸念があることに注意が必要である。

図表1：実質 GDP 成長率の推移（改定値）



【経済指標】

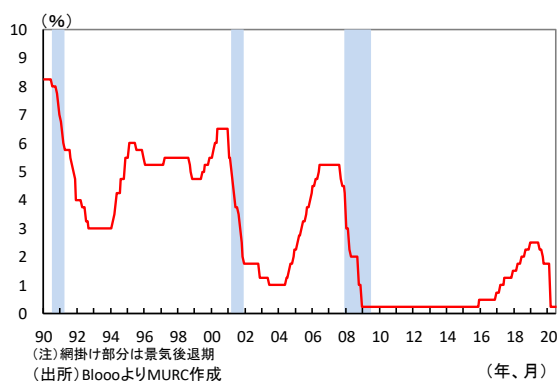
- ・ 8月の非農業部門雇用者数は前月差+137万人と4ヶ月連続で増加、失業率も8.4%と高水準ながら4ヶ月連続で低下し、5ヶ月ぶりに一桁台に改善した（図表2）。もっとも、新型コロナの感染が再拡大した影響により、増加幅はこのところ2ヶ月連続で鈍化した。
- ・ 企業部門では、7月の鉱工業生産は前月比+3.0%と増加が続いた。自動車関連産業の増産が引き続き牽引した。設備投資の先行指標である7月のコア資本財受注も同+1.9%と持ち直しが続いた。8月のISM景況感指数は製造業が56.0と、2018年11月以来およそ1年半ぶりの水準に改善した。非製造業は56.9と前月と比べわずかに低下したが、好不調の判断の目安となる50の水準を3ヶ月連続で上回っている（図表3）。
- ・ 対外部門は、7月の財輸出（前月比+12.0%）、財輸入（同+12.4%）が、いずれも2ヶ月連続で増加し、貿易赤字（財）は▲801億ドルと赤字幅が拡大した（図表4）。国別には対中国（▲283億ドル）、対メキシコ（▲115億ドル）の貿易赤字が拡大した。
- ・ 物価指標のうち、FRBが重視するコアPCEデフレータは、4月の急低下後、上昇基調にあるが、7月も前年比+1.3%と目標値である2%を大きく下回っている（図表5）。

図表 2. 雇用統計

図表 3 : ISM 景況感指数

図表 4. 貿易赤字（財）

図表 5 : 消費者物価


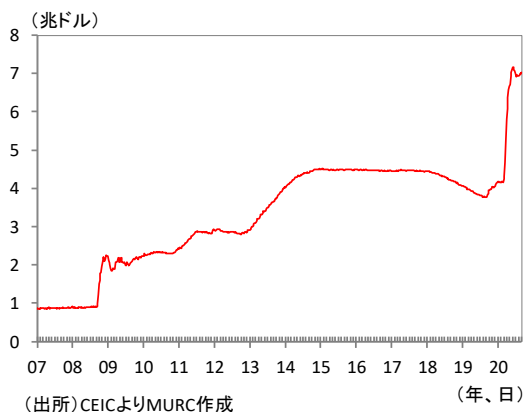
【金融政策・金融市場】

- FRBは、8月27日に開催した臨時の連邦公開市場委員会（FOMC）で、2012年に策定した金融政策の運営方針を修正し、従来2%としてきた物価の長期目標を、平均2%に変更した。これは、2%を下回る期間が続いた後は、2%を超える期間が続くことを容認するものであり、足元の物価が1%台前半に留まっていることから、当面の目標は「物価がしばらく2%超で推移すること」と明記された。FRBの6月時点の物価の予測値は、2022年末の時点で1.7%にとどまっており、ゼロ金利政策が今後も数年間にわたり継続される公算が高まった。
- パウエル議長は同日開催の国際シンポジウム（ジャクソンホール会議）のオンライン講演で、上述の新たな運営方針を説明し、金融緩和の長期化を内外に印象付けた。
- 金融市場では、ダウ平均株価は上昇基調を辿り、9月2日には29100.5ドルと、新型コロナウイルス感染拡大前の水準を回復した（図表8）。一方、長期金利は0.5~0.8%程度の低い水準で推移している（9/4:0.72%）（図表9）。

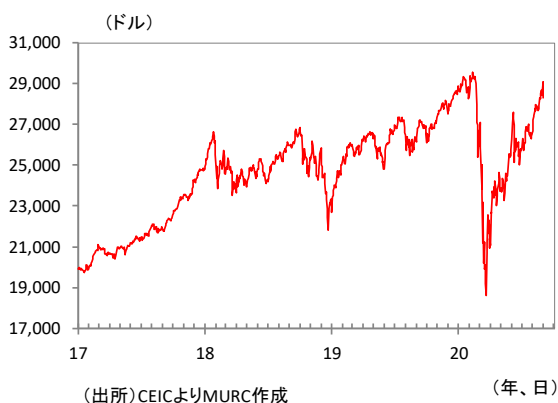
図表 6：政策金利



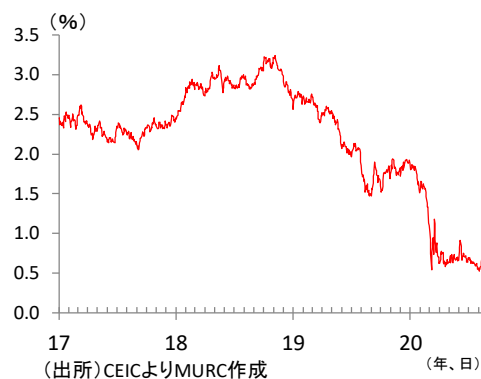
図表 7：FRB 総資産



図表 8. ダウ平均株価



図表9：長期金利



ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp